

カテゴリ別レベル特徴【産出】

産出	話すこと全般			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2			・論理的な構成を持った、流れのよいスピーチ ・聞き手の記憶に残るようなスピーチ	・スピーチができる
C1		・複雑な話題	・明瞭かつ詳細な描写やプレゼンテーション	・下位テーマをまとめ、要点を展開しながら、適当な結論に持っていきける
B2		・自分の関心ある分野に関連した、広範囲な話題	・明確かつ体系的に展開した描写やプレゼンテーション	・要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる ・明確かつ詳細に話すことができる ・事項を補足しながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開できる
B1		・自分の関心のあるさまざまな話題	・ある程度の長さの簡単な描写やプレゼンテーション	・事柄を直線的に提示し、比較的流暢に話すことができる
A2		・人物の生活、職場環境、日課、好き嫌い	・単純な描写やプレゼンテーション ・簡単な字句や文	・簡単な字句や文を並べて話すことができる
A1		・人物や場所	・単純な字句	・単純な字句を並べて話すことができる

産出	経験や物語を語る			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2			・記憶に残るような経験談	・明瞭で滞りなく、詳しく述べるができる
C1		・複雑な話題	・経験談、語り ・洗練された描写	・明瞭かつ詳細に述べるができる ・下位テーマをまとめ、要点を展開して、適切な結論で終わらせることができる
B2		・自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題	・経験談、語り	・明確で詳しく述べるができる
B1		・自分の関心事で、馴染みのあるさまざまな話題 ・現実や想像上の出来事、経験 ・予測不能の出来事(事故など) ・本や映画の筋 ・夢や希望、野心	・経験談、語り	・事柄を直線的に並べて、比較的流暢に、簡単な語りができる ・自分の感情や反応を描写しながら、経験を詳細に述べるができる ・出来事を順序だてて詳細に述べるができる ・自分の考えを述べるができる ・夢、希望、野心を述べるができる
A2		・自分の周りの環境(人、場所、仕事) ・計画、準備、習慣、日課、過去の活動や個人の経験 ・事物や所有物 ・好き嫌い	・経験談、語り	・事柄を列挙して簡単に述べるができる ・要点を短く述べるができる ・事物を比較できる
		・家族、住居環境、学歴、現在の仕事 ・人、場所、所有物		・簡単な言葉で述べるができる
A1		・自分について(何をしているか、住んでいる場所)		・述べるができる

産出	論述する			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1				
B2			・議論	・適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる
			・はっきりとした議論	・補助的観点や事例を詳細に補足し、自分の見解を展開できる ・理路整然と論拠を並べ挙げるができる ・利点と不利な点を挙げて、問題の視点を説明できる
B1			・明確な議論	・明確な議論が構築でき、他人がついていくのに苦労しない
		・意見、計画、行動	・短い理由、説明	・短い理由や説明ができる
A2				
A1				

産出 公共アナウンスをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				
C1			・アナウンス	・細かいニュアンスを正確に伝えるために、強弱、イントネーションをつけて、楽々と、かつ流暢にアナウンスができる
B2		・一般的な話題のほとんど	・アナウンス	・聞き手に何のストレスも不快さも与えることなく、明快に、流暢に、ごく自然にアナウンスができる
B1	・練習しておけば	・自分の分野に関連する話題	・短いアナウンス	・はっきりとわかりやすくアナウンスができる
A2	・聞き手が集中して聞いてくれれば ・練習しておけば	・予測可能で身近な話題	・短いアナウンス	・アナウンスができる
A1				

産出 講演やプレゼンテーションをする				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2	・話題について知識のない聴衆に対しても		・複雑な内容の口頭発表	・自信を持ってはっきりと発表できる ・聴衆の必要性に合わせて柔軟に話を変えていくことができる ・難しい／敵意のある質問に対処できる
C1		・複雑な話題	・明瞭できちんとした構成のプレゼンテーション	・補助事項、理由、関連事例を詳しく説明し、論点を展開し、立証できる ・聴衆からの不意の発言にほとんど苦勞せず自然に反応できる
B2			・はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーション	・重要な点、関連する詳細事項を補足的に強調することができる ・聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる ・非常に流暢に楽に表現できる
	・事前に用意しておけば		・はっきりとしたプレゼンテーション	・賛成や反対の理由を挙げて、利点と不利な点を示すことができる ・質問に、ある程度流暢に、自然に対応できる
B1	・事前に用意しておけば ・質問のスピードが速い場合は、もう一度繰り返してもらえれば	・自分の専門でよく知っている話題	・はっきりとした、簡単なプレゼンテーション	・聴衆が難なく話についていける程度に、プレゼンテーションができる ・要点をそこそこ正確に述べる ・質問に対応できる
A2	・リハーサルしておけば ・リハーサルしておけば ・質問を繰り返し言ってもらい、回答するのに何らかの助け船を出してくれる人がいれば	・自分の毎日の生活に直接関連のある話題	・短いプレゼンテーション ・短い基本的なプレゼンテーション	・意見や行動に対して、理由を挙げて、短く述べる ・限られた数の簡単な質問に対処できる ・プレゼンテーションができる ・簡単な質問に答えることができる
A1	・準備して練習しておけば		・非常に短い、準備して練習した表現(話し手の紹介や乾杯の発声)	・読み上げることができる

産出 書くこと全般				
	条件	話題・場面	対象	行動
C2			・複雑なテキスト	・明瞭に調子よく書くことができる ・読者に重点がわかるように書くことができる ・適切で印象的な文体と理論的な構成で書くことができる
C1		・複雑な話題	・明瞭できちんとした構造を持ったテキスト	・重要な点を強調して、補助事項、理由、関連する詳細な事例を加えて論点を展開し、それを維持できる ・適切な結論で終わることができる
B2		・自分の関心がある専門分野の多様な話題	・明瞭で詳細なテキスト	・いろいろな情報や議論をまとめて、評価した上で、書くことができる
B1		・自分の関心がある身近な話題	・結束性のある簡単なテキスト	・一連の短い別々の要素を一つの流れに結びつけて書くことができる
A2			・簡単な表現や文	・「そして」「しかし」などの簡単な接続詞でつなげて書くことができる
A1			・簡単な表現や文	・簡単な表現や文を単独に書くことができる

産出	作文を書く			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2				<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭ですらすらと流れるように書くことができる ・そのジャンルに適切な文体で書くことができる ・読み手を完全に引き込むことができる
C1			<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭かつ詳細な、きちんとした構成と展開を持つ記述文や創造文 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の、しかも自然な文体で、自信を持って、書くことができる ・読者として想定した相手にふさわしいテキストを書くことができる
B2		<ul style="list-style-type: none"> ・実際／想像上の出来事や経験 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭、詳細な記述文 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の見解を相互に関連づけ、当該ジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に書くことができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が関心を持つさまざまな話題 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭、詳細な記述文 ・映画、本、演劇の評 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭、詳細に書くことができる
B1		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が関心を持つ身近な話題 ・現実／想像上の出来事、経験(最近行った旅行など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑でないが詳しい記述文 ・単純につながりあわせたテキスト ・物語 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑でないが、詳しく書くことができる ・感情や反応を記述しながら書くことができる
A2		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の周りの日々のいろいろな事柄(人物、場所、仕事) ・出来事、過去の活動、個人的な経験 	<ul style="list-style-type: none"> ・つながりのある短い文 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・家族、生活環境、学歴、仕事など 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な句や文を連ねたテキスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な句や文を連ねて書くことができる
A1		<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身や想像上の人物について(どこに住んでいるか、何をするか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な句や文 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことができる

産出	レポートや記事を書く			
	条件	話題・場面	対象	行動
C2			<ul style="list-style-type: none"> ・複雑なレポート、記事、エッセイ ・事情説明、提案 ・文学作品の批評文 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭で流れるように書くことができる ・読者に重点がわかるように、適切で効果的に論理を構成することができる
C1		<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な話題 	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭な、きちんとした構造を持ったテキスト ・ある程度の長さの文 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助的事項、理由、事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開できる
B2			<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイ、レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・論拠、論点を整然と展開して書くことができる ・重要な点や関連事項の詳細を適切に強調できる ・いろいろな考えや問題の解決法を評価できる ・根拠を示して賛成や反対の理由を挙げ、さまざまな選択肢の利点と不利な点を説明できる ・集めた情報や議論をまとめることができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・関心をもつ話題 ・自分の専門範囲の日常的／非日常的な事柄 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い簡単なエッセイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた事実情報をもとに、総括し、報告できる ・ある程度の自信を持って自分の意見を提示できる
		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な事柄 	<ul style="list-style-type: none"> ・きわめて短い報告文 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実を述べ、行動の理由を説明できる ・標準的な常用形式に沿って書くことができる
A2				
A1				

参考資料

Council of Europe (2001) Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment. Cambridge: Cambridge University Press.

Council of Europe (2004) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第1刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社

Council of Europe (2008) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第2刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社